須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

稲雲（とううん）

第　１４　号

令和４年１１月２８日発行　　発行者：校長　小貫　崇明

○須賀川の誇り・銅メダリスト円谷幸吉を知る

１１月25日（金）、稲田公民館との学社連携融合事業講演会を実施しました。対象は発達段階を考慮し５年生以上の児童生徒としました。小中学生が一緒にいる本校ならではの講演会です。講師は元須賀川市立博物館長の安藤清美様で、演題は「すかがわ人～円谷幸吉～」です。我が須賀川市出身で前回（１９６４年）の東京オリンピックマラソン競技銅メダリストの円谷幸吉が、どんな家庭に育ち、どのようにしてマラソンや指導者と出会い、どのような努力をして銅メダルを獲得するまで成長したのかを、関係する人たちの証言や大会でのアナウンサーの生の声を聴いているような語り口でお話しいただきました。今回の講演が、児童生徒それぞれの努力する姿勢や生き方などの参考になってもらえればうれしいです。

○なかよしフェスティバルで１・２年生が交流

１１月２５日（金）、１年生と２年生が生活科の学習として「なかよしフェスティバル」を行いました。２年生が１年生と一緒に活動するために用意した遊びは射的や魚釣り、輪投げなどの９つもあり、１年生はどこに行って遊ぼうか迷うくらいでした。

昨年度は、上級生に遊んでもらっていた２年生ですが、今回は１年生をしっかり楽しませていました。２年生の大きな成長を感じるなかよしフェスティバルでした。

○６年生が後期課程に進級する前に部活動を見学しました

１１月２５日（金）、６年生が次年度から始まる部活動への見通しが持てるように、６つある部活動の見学をしました。

普段は仲良く話をする６年生と後期課程の子ども達ですが、緊張した様子で「先輩」である生徒の話を聞いたり、活動を見学したりしていました。さて、どの部が気に入ったかな？

○日本学校合奏コンクール全国大会で金賞・銀賞受賞！

１１月１９日（土）、日本学校合奏コンクール・ソロ＆アンサンブル全国大会が、千葉県文化会館にて開催されました。予選を通過した小中高生のソロとアンサンブルが、それぞれの楽器や編成の持ち味を生かし、指揮者なしですばらしい演奏を聴かせていました。稲田学園も、３人と１６人のアンサンブル２グループが、今までの様々な演奏経験の集大成として最高の演奏をしました。会場に駆けつけたご家族の皆さんも感動されていました。審査の結果は、９年生３人のグループが金賞を、部員１６名による演奏は銀賞をそれぞれ獲得しました。音楽部の皆さん、全国大会での活躍、そして金賞・銀賞の受賞、本当におめでとうございます。

○校外学習で美術館や自動車工場を見学してきました

１１月１８日（金）、６年生は郡山市美術館へ行ってきました。たくさんの美術作品をじっくりゆっくり眺めるという経験、様々な表現方法や作者が作品に込めた思いなどを感じるなど、貴重な鑑賞体験になったのではないでしょうか。

また２２日（火）には、５年生が研修バスに乗って、いわきの日産自動車工場、アクアマリンふくしまへ行ってきました。特に日産自動車の工場では、最新の自動車の生産ラインや、名車と呼ばれる車の展示を見学して、普段の生活ではできない経験をたくさんして、充実した学習をすることができました。

○卓球男子団体、県大会で予選リーグ突破！

１１月２３日（祝・水）に須賀川アリーナで開催された県中学生新人卓球大会に出場した稲田学園男子卓球部は、岩瀬地区新人大会団体優勝の勢いそのままに予選リーグを１勝１敗で突破し、決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントでは１回戦で強豪船引中に１－３で惜敗しましたが、１月に行われる県選抜大会への出場が決定しました。頑張れ卓球部！（写真は県南新人卓球大会での１コマ）

★言葉と生きる（１４）「使ったところが強くなる，頭でも体でも」

この言葉は、「にんげんだもの」で有名な相田みつをの言葉です。当たり前といえば当たり前なのですが、心に響いてきます。「使えばもっと伸びるんだよ。あきらめないでじっくり頑張っていこうよ・・・」と言われているように感じるからでしょうか。

相田みつをの詩の中にある「人間の弱さ」や「前向きに生きよう」といったメッセージは、教育にも多くの示唆を与えてくれます。私はこの詩のとおり、稲田学園の子どもたちに、頭も体もたくさん使って、どんどん強い人間になってほしいと願っています。